

## 資料1

# 2021年度各種課程活動報告（教職課程）

大西 勝也

2021年度も前年度同様、コロナ禍の中で工夫を凝らした諸々の取り組みが行われました。

### ○授業

一口で言うと、オンライン授業と対面授業が混在した授業風景が見られた一年でした。

もう少し詳しく言うと、緊急事態宣言下では全てオンライン授業となりましたが、緊急事態宣言解除後は、原則、一定の履修者数以上の授業はオンライン授業（オンデマンド）となり、それ以下の授業は対面授業（ハイフレックス授業を含む）となりました。教職課程の授業は履修者数を踏まえた結果、原則、対面授業となりました。オンライン授業もやり方次第で色々な可能性やメリットがあると思われませんが、やはり、直接のコミュニケーションが取りやすく、討議、グループ活動、実技、模擬授業といったアクティビティを展開しやすいということから、対面授業が歓迎される傾向にあります。

### ○教育実習

2020年度は、前学期実習が後学期に変更される教育実習校や、実習期間を当初の3週間から2週間に短縮する学校の数が二桁に上りましたが、2021年度はそうしたケースがかなり減りました。各教育実習校でも以前よりコロナ対策が徹底され、また、対面授業とオンライン授業の双方を臨機応変に使い分けるようになっていきます。ただし、教育実習校によって対面授業とオンライン授業の実施比率に差が生じています。実習生は、コロナ禍において、感染対策をとりながらの対面授業とコミュニケーションの取れるわかりやすいオンライン授業の実践から多くの経験と学びを得たようです。

### ○学校ボランティア

緊急事態宣言下においては、2020年度同様、学生による学校ボランティアは大学の方針に従い休止せざるを得ませんでした。しかし、緊急事態宣言解除とともに、学校ボランティアは再開できました。28名の学生がこの学校ボランティアに参加しました。近隣の横浜市の学校4校、川崎市の学校4校で学生を受け入れて下さいました。なお、前年度に引き続き、JIN-KANA学習塾は今年度も大学の方針により休止したままでしたが、幸いにも、

2022年度4月からの活動再開が大学から許可されました。経済的困窮等を抱えた家庭の子どもたちの学習支援を教職課程の学生たちが担うこの事業は世間から注目され、高い評価を得ており、たびたびマスコミで取り上げられ、話題となっています。こうした事業が再開される見通しが立ったことはとても喜ばしいニュースです。

### ○教員採用試験対策

横浜キャンパス(以下・YC)、みなとみらいキャンパス(以下・MMC)、湘南ひらつかキャンパス(以下・SHC)では、それぞれにおいて、または、YC・MMC合同で、学生のキャリア支援プログラムとして、諸々の教員採用試験対策講座が実施されました。自治体別模擬試験、全国公開模擬試験、「論作文」対策講座、「教職教養」対策講座、「専門教養」対策講座(教科:社会、数学、理科)、保健体育科対策講座(実技、模擬授業、面接等)、特別講座「教採対策面接指導セミナー」、二次試験対策講座を実施しましたが、「英語」と「保健体育」については、この他に学科の専任教員による年間を通しての対策指導が行われています。

2021年度は、2020年度までよりも、各講座を受講する学生が増えました。そのおかげもあり、教員採用試験の合格者数が増えました。教員を目指す学生の方々にはこうしたプログラムを学習の機会として大いに活用してもらえたらと願っています。

### ○教員免許状更新講習(必修・選択必修領域)

コロナ禍ということもあり、8月9日(月)～22日(日)にオンライン(オンデマンド)で、「教育の最新事情—子どもの発達の課題と教育政策の動向を学ぶ—」「学習指導要領の改訂の動向と学校における危機管理上の課題」が行われました。受講確定者数85名、履修認定者数85名でした。

なお、2021年11月19日、文部科学省の末松信介大臣は、2022年の通常国会での法改正を目指し、2022年度早期に廃止したいと考えを明らかにしました。これを受けて2022年度の本学の教員免許状更新講習は実施されないことになりました。

### ○教職課程打ち合わせ会

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、2021年度の教職課程打ち合わせ会は残念ながら中止となりました。